

第 13 回全日本ノービス&ジュニアカップ ショートトラックスピードスケート選手権大会 第 1 戦の実施について

標記競技会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、以下の要領での実施といたしますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

- (1) 無観客試合として開催する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策については、「日本スケート連盟主催競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に沿って行う。
- (3) 入場者の制限について
 - ① 入場者は、参加選手、監督・コーチ（参加選手が大会エントリー時に登録）、競技役員、大会関係者、下記②に定めるチームスタッフ・関係者、及び大会実行委員会が認めた報道関係者のみとする。
 - ② 大会エントリー時に登録された監督・コーチの中から、1階リンクエリアでの活動を希望できるのは『各チーム』最大3名までとし、希望者はチーム毎に届出書（別紙「監督・コーチ・チームスタッフ・関係者届出書」）の提出を必要とする。それ以外の監督・コーチ・チームスタッフ・保護者等については、選手1名につき2名程度を限度として同届出書により追加登録を可能とする。ただし、大会エントリー時に登録された監督・コーチの内、1階リンクエリアでの活動希望者に含まれなかった者は、この追加人数の範囲内に含まれることとする。
届出書はチーム毎に大会事務局へ期日までに提出すること。
提出期日 11月6日（金）
 - ③ 入場者の最大人数を400名程度とし、これを超える要望がある場合は大会事務局で調整・判断する。
※感染予防と、入場受付待機時間をなるべく短くするため、最少人数での来場にご協力をお願い致します。
 - ④ チーム控えスペースはリンク内の観客席を利用する。リンク外の2階エントランスは施設共用スペースなので、チーム控えスペースとしては利用しない。また、観客席最前列は、チームビデオ撮影者の利用を優先し、チーム控えスペースは2列目以降とする。
感染症対策として、座席は間隔を空けて譲り合って利用する。
- (4) 会場内の座席は2階観覧席を利用し、1階リンクエリアには、出場選手・(3)②に記載の届出を受け、最終的に監督・コーチとして認められ専用IDの発行を受けた者のみに立ち入りを許可する。
- (5) 選手、競技役員、関係者を含む来場者は、全員2階会場入り口でJSFヘルスチェックアプリ又は、健康調査票（別紙様式）を提出し、大会役員によるチェックを受けること。
チェック完了者へIDカードを配布する。
なお、健康調査票には参加（来場）2週間前からの健康情報を記入すること。
2日目以降は、初回入場時に2階会場入り口で検温を受けること。
- (6) マスクは来場者全員が持参し、氷上以外は常時着用とする。
- (7) その他
 - ① 報道関係者の入場についても、2週間分の健康調査票を提出する事とする。
 - ② 実施方法が変更になった場合や、その他詳細情報については、決定次第都度発表する。